

# グループA

## ☆グループディスカッション

### 調剤薬局との連携の課題

- Dr. からみて、古い形のやり方で、新しいなやり方なく、そこ「薬局」で完結してしまう。  
CMからみて、
- 薬局がHP近くにあるものの為、在宅になった場合身近に感じるのが難しい(資料、プラン、小情報も得るところも)

他職種からのギモン ... 訪問でどこまで薬剤師がやってくれるのか  
今訪問Nsがやってる、できている。

- 認知症CM訪問面からみて、
- 認定にもれた在宅の方をどう思うか、どうサポートできるのか。  
↳ 色々な方法、支援のサポートのイイ方があるのでは...

- 薬剤師からみて、
- 直接担当した方はいないが、状態になって薬量変更(調整)が必要なら現場でDr. Nsと連携して行っている(行きたい)。届けまでにはしているが、~~④~~保険がバラバラ(サービス違いもあり)の事もあり、最後まで

行き届かない(サービスとして、負担でない)。

### 対応策

- 認知症の方など地域の方は、「かかりつけ薬剤師」がいるとCM側、サポート側は足かっている。

- 薬剤師、の顔が見えるようにする(自分たちから積極的に関わりをもつ)

### 今後調剤薬局に期待すること

- 各薬剤師の強み(特徴)が個々にあれば良いと思う。  
↳ Ex) 内科、症例: "とのエキスパート"
- 地域に応じて、求められる薬局の特性が異なると思うので、地域の薬剤師になってほしい。

↳ 薬剤師側からは: 認知症や  
抗がん剤の認定は取り、  
専門小生は高めている。

Dr. へ

- 医師がHPで話すこと、薬局で薬剤師が話すことが違うと患者が言うが...

↳ 薬剤師より「~~患者~~患者から話を聞いて介入しぎぬよう説明  
Dr. へ報告しています」

↓

薬剤師から医師へフィードバックする小情報も必要なのでは...

- 在宅サポート側から... Dr. から医療情報は貰えるから、薬剤師さん忘れがち。もっと介入してほしい  
↳ 期待。

- スマホのお薬手帳にコメントする場所あれば...

↳ 高齢者がスマホできるのか。

## ☆グループディスカッション

### 調剤薬局との連携の課題

- ・ 利用者はお金払って薬を配達してくれるという認識が強い。
- ・ 訪問診療とセットで薬局利用  
エンシユアの配達のために訪問薬局利用したりするケースが多い？
- ・ 薬局とDrとの連携は必要  
服薬指導を薬剤師は行っている。色々な提案してくれるのでDrは各々の職種からの立場の意見もきく。実際は ~~薬剤師が確認してやる~~ のんたかどうかも薬剤師が確認してやる。
- ・ カレンダーにセットしたり薬剤師の認知の人の薬を 在宅での役割強化
- ・ セルフネガレクトのptに対するサポート。
- ・ 情報共有が重要と大切。
- ・ 訪問看護と訪問薬局の関連について
- 薬剤師の仕事がみえない...

退院前カンファレンスの統一化。

入院中からの連携  
薬剤師との

医療側からの担い手会  
問題点があった時に集約

CM・Drとの連携  
薬剤師に何をしたらいいか。  
地域ケア会議にも薬剤師  
参加している。副作用・  
薬の症状からきているのか。

### 今後調剤薬局に期待すること

### 対応策

- ・ 薬局を利用することで重症化を防止できるとしていき。
- ・ 多職種との円通しを促す。

## ☆グループディスカッション

### 調剤薬局との連携の課題

薬剤師さん Dr. 関係者が ちゃんとコミュニケーションとれている

残薬が多い.

HP から 訪問看診に 服薬状況確認

CMさん Dr. に相談して.

これは 薬剤師さんの 役割

薬剤師さんの 活用 の 仕方がわからない  
役割を 理解 できていない

### 今後調剤薬局に期待すること

服薬管理指導 : + α.

患者さんに ポジティブメッセージを送る

サプリメント として V.I. (ゼタミン愛) を.

お薬を 続けよう.  
きちんと 飲もう.

### 対応策

薬剤師の 役割 を アピール.



## ☆グループディスカッション

### 調剤薬局との連携の課題

- \* 病院・薬局と どう繋がる
- \* かかりつけ サポート薬局がまだ周知されてない  
医療機関・福祉施設にアピール！ 多職種との連携 さらに顔合わせできるように
- \* 必要性が高い高齢者がついていけないのか  
→ スマホ利用者の年代が限られている！
- \* 2025年まで、どうスムーズに電子お薬手帳の仕組み作りするのか。

### 今後調剤薬局に期待すること

- \* 薬剤師会が各キャリア（ドコモ、ソフトバンク、au）に働きかけて電子お薬手帳導入。

### 対応策

- ・ 研修会、ポスター
- ・ 厚労省 通知（減点するとなると周知徹底する方向へいく！）
- ・ かかりつけ処方 の加算システム
- ・ 健康サポートとしての成果での加算システム
- ・ 薬局が施設イベント参加して相談